

令和3年度 釧路教育研究センター 運営審議会

日 時：令和4年2月8日（火） 16：00～17：00

場 所：釧路教育研究センター 2F大会議室

出席者：別添 運営審議会座席表のとおり

関係資料：資料1 釧路教育研究センターの機能移転について

資料2 釧路教育研究センター研究専門委員会の再編について

1 開会

2 教育長挨拶

3 議事

(1) 釧路教育研究センターの機能移転について

○事務局より、資料1を使用し、説明。

(2) 釧路教育研究センター研究専門委員会の再編について

○事務局より、資料2を使用し、説明。

(3) その他

【以下、質疑応答】

◇委員

・機能移転場所の具体的な候補は決まっているか。

◆事務局

・釧路市立小中学校あり方検討委員会で検討中である。駐車場の確保や利便性のある場所にしたいと考えている。

◇委員

・5つの研究専門委員会を3つに改変するようだが、これまでの研究をどこの研究専門委員会が引き継ぐのか。

◆事務局

・学習研究専門委員会と指導方法研究専門委員会を統合し一人一台端末を活用した授業改善を中心に研究を進める。また、生徒指導研究専門委員会と特別支援教育専門委員会を統合し、生徒指導と特別支援の二つの視点から子ども支援についての研究を進める。

◇委員

・学校現場でもGIGAスクール構想推進に伴う学習環境の変化があり、学校の枠を超えて釧路市の教育をリードしていくためにも今回の再編成は理に適っている。

◇委員

・学校現場でもGIGAスクール構想推進に伴う学習環境の変化があり、学校の枠を超えて釧路市の教育をリードしていくためにも今回の再編成は理に適っている。

◆事務局

・教材とPCを持ち運ぶのは確かに児童生徒の負担になる。国の方針としては、外国語はデジタル教科書になり、随時デジタル化が進んでいく。ただ、教材としてデジタルがいいのかペーパーがいい

のかは考えていく必要がある。

◆事務局

- ・デジタルを是としないグループもある。デジタルと紙をどのように融合していくかが今後の課題である。

◇委員

- ・社会の授業では、教科書、資料集、ノートを並べ比べながら進めることができ、紙の方が優位な場面がある。また、写真や動画等デジタルの方が優位な場面もある。学習活動の目的に応じたバランスを考える必要がある。

◇委員

- ・メディアミックスはそれぞれの良さがある。どのように融合することがよいのかの判断はまだ時間がかかるので、日本全体で考えていく必要がある。

4 閉会